

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

学校法人 谷岡学園
〈大阪商業大学堺高等学校〉

学校法人谷岡学園 令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 法人の概要

建学の理念

学校法人谷岡学園は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、それを(1)思いやりと礼節(2)基礎的実学(3)柔軟な思考力(4)楽しい生き方、と解釈しています。すなわち、まず人物的に優れ、社会に必要な知識・技能・資格を備え、かつそれを活用し得る広い視野・適応力・創造性を持つ、そして、何事にもプラス思考で取り組み、楽しい充実した生活を送ることのできる人材の養成を使命としています。

1 設置する学校・学部・学科等

(1)大阪商業大学

大学院	地域政策学研究所 地域経済政策専攻、経営革新専攻
経済学部	経済学科
総合経営学部	経営学科、商学科、公共経営学科(平成30年度より募集停止)
公共学部	公共学科

(2)神戸芸術工科大学

大学院	芸術工学研究科 芸術工学専攻、総合アート&デザイン専攻
芸術工学部	環境デザイン学科、プロダクト・インテリアデザイン学科 ファッションデザイン学科、ビジュアルデザイン学科 まんが表現学科、映像表現学科、アート・クラフト学科

(平成27年度より募集停止)

先端芸術学部	まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科
--------	--------------------------

(3)大阪商業大学高等学校

全日制課程普通科

(4)大阪商業大学堺高等学校

全日制課程普通科

(5)大阪緑涼高等学校

全日制課程普通科
全日制課程調理製菓科

(6)大阪商業大学附属幼稚園

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況(令和4年5月1日現在)

(1)大阪商業大学

※1…平成30年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 地域政策学研究所	地域経済政策専攻	博士前期課程	10	20	6	10
		博士後期課程	3	9	0	4
	経営革新専攻	修士課程	10	20	2	4
	計		23	49	8	18
経済学部	経済学科		300	1,200	331	1,399
	計		300	1,200	331	1,399
総合経営学部	経営学科		400	1,600	458	1,861
	商学科		150	600	193	744
	公共経営学科※1		—	—	—	4
	計		550	2,200	651	2,609
公共学部	公共学科		250	1,000	276	1,079
	計		250	1,000	276	1,079
合 計			1,123	4,449	1,266	5,105

(2)神戸芸術工科大学

※1…平成27年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 芸術工学研究所	芸術工学専攻	博士後期課程	6	18	0	8
	総合アート&デザイン専攻	修士課程	27	54	41	81
	計		33	72	41	89
芸術工学部	環境デザイン学科		70	280	64	294
	プロダクト・インテリアデザイン学科		70	280	52	259
	ファッションデザイン学科		50	200	17	121
	ビジュアルデザイン学科		80	320	76	316
	まんが表現学科		45	180	52	197
	映像表現学科		45	180	75	252
	アート・クラフト学科		40	160	42	180
	計		400	1,600	378	1,619
先端芸術学部	まんが表現学科※1		—	—	—	—
	映像表現学科※1		—	—	—	2
	クラフト・美術学科※1		—	—	—	—
	計		—	—	—	2
合 計			433	1,672	419	1,710

(3)大阪商業大学高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	325	411	1,237

(4)大阪商業大学堺高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	400	307	1,080

(5)大阪緑涼高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	240	173	450
全日制課程 調理製菓科	60	68	197
合 計	300	241	647

(6)大阪商業大学附属幼稚園

保育年限	募集定員	収容定員	入園者数	園児数
3歳児(3年)、4歳児(2年)、5歳児(1年)	50	170	43	140

3 役員・教職員の人数

(1) 役員(令和4年5月1日現在)

理事	理事長	谷岡一郎	監事	岡山栄雄
	理事	谷岡辰郎	監事	西村義明
	理事	佐藤優		
	理事	浅田隆		
	理事	佐藤賢治		
	理事	常岡裕之		
	理事	加藤幸江		
	理事	片山隆男		
	理事	板倉龍介		

(2) 評議員(令和4年5月1日現在) 19名

浅田隆	的場啓一	高岸暎治	神戸直樹	谷岡一郎	片山隆男
谷岡辰郎	板倉龍介	好永保宣	長谷川孝好	常岡裕之	佐藤賢治
寺田全輝	谷岡瑞子	渡辺真一郎	安藏伸治	星野智子	加藤幸江
南方建明					

(3) 責任限定契約について

寄附行為第19条に基づき、令和4年5月1日現在、次のとおり責任限定契約を締結しています。

○対象役員氏名

(非業務執行理事) 加藤幸江 板倉龍介
(監事) 岡山栄雄 西村義明

○契約内容の概要

当該役員が本学園の役員として遂行した職務に関して、私立学校法第44条の2第1項に基づく損害賠償責任を負う場合、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、私立学校法その他の法令が定める最低責任限度額をもって、当該役員の本学園に対する損害賠償責任の額の上限とし、当該上限を超える部分については、責任を負わないものとする。

○契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

上記契約内容のとおり。

(4) 役員賠償責任保険契約について

令和4年3月25日理事会決議に基づき、令和4年4月1日付で役員賠償責任保険に加入しました。

○対象役員氏名

加入日以降に在任した理事・監事全員

○契約内容の概要

- ・保険名称: 私大協役員賠償責任保険制度
- ・保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社
- ・保険内容: 経営責任総合補償特約条項・制裁等に関する特約条項・特定危険不担保特約条項・会社有価証券賠償責任等不担保特約条項・役員定義修正特約条項・追加保険料の払込猶予に関する特約条項付帯会社役員賠償責任保険
- ・支払い限度額: 1億円(免責金額0円)
- ・契約期間: 令和4年4月1日～令和5年4月1日

○契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

被保険者の犯罪行為、或いは法令違反を認識しながら行った行為に起因する損害等については、適用対象外とする。

(5)教職員(令和4年5月1日現在)

学校名	教員・研究員	職員	合計
大阪商業大学	205 (93)	162(20)	367(113)
神戸芸術工科大学	210(115)	78(21)	288(136)
大阪商業大学高等学校	124 (43)	16 (1)	140 (44)
大阪商業大学堺高等学校	108 (36)	15 (1)	123 (37)
大阪緑涼高等学校	99 (40)	15 (3)	114 (43)
大阪商業大学附属幼稚園	19 (4)	3 (1)	22 (5)
合計	765(331)	289(47)	1,054(378)

※()は非常勤教職員(内数)、法人職員は大阪商業大学に含む。(役員関係及び兼務者は除く。)

2 事業の概要

大阪商業大学堺高等学校

(1) 学校基本領域

建学の理念「世に役立つ人物の養成」に基づく、指導目標「自学・自律・勤労」の具体的な学校像として、①生徒を第一に考える学校、②生徒が明るくいきいき自分を生かせる活動ができる学校、③生徒の夢や希望に寄り添い実現できる学校、④豊かな心と人生を楽しく生きる心を育てる学校、⑤生徒・保護者の心が教育に反映され教職員が一体となって他に類を見ない学校、⑥近隣地域に貢献し地域に支援され地域を支える学校、を基本として実践に臨みました。高校生活の中で生徒が、明るく、夢あふれ、成長を感じることができるようになることが最も大切なことです。そのために、まず教員集団が、明るく、前向きな姿勢をもつことができるように改善を進めています。コロナ禍の制約が多く困難な状況が一段落する機会を捉えて、大阪商業大学堺高等学校が家庭や地域の中心・拠り所であり続けるために、教職員一同で新たな施策に取り組んでいきたいと考えています。

(2) 学習指導領域

本校で実践している「勤労教育」は、建学の理念の4つの柱にある「思いやりと礼節」の心を具現化する大切な活動です。二年生全員が実際に作物を育て、また座学で学ぶことで、思いやりの心、感謝の心、命の大切さに気付き、他者への尊敬、ひいては大阪商業大学堺高等学校への帰属意識への高まりに繋がっています。そして、これらが、文化祭や体育祭で活躍して表彰される生徒を称える気持ちに、また、集会等でしっかりと聞く姿勢など学校生活全般に少しずつではありますが、反映していると考えています。

学習指導においては、夏休みにホームルーム教室へのホワイトボード・プロジェクタ・Wi-Fi環境の整備が完了し、2学期から授業において使用しています。映像を用いた授業も増えるなど教員間で授業研究を行っていました。生徒にとっても、授業のスタイルの変化を感じることで、授業に取り組む姿勢が良くなるなどの効果がみられています。令和5(2023)年度入学生からの1人1台環境の準備については、検討・実践を積み重ねて、より効果的な授業を目指します。

学習指導要領の改訂に伴い、一年生は新しいカリキュラムで授業を進めています。観点別評価については、評価方法について取り急ぎまとめて実施しています。

(3) 生活指導領域

生活指導においては、校則・規則を守らせるのではなく、自分や周囲の安全・安心のために校則があることを理解させ、なぜ校則があり守らなければならないのかを考えさせることに注力しました。特に生徒指導部では、教員間での意識統一を図るために生徒指導部通信を発行し、自らを律することができる生徒の育成を全教員で取り組むことに努めました。また、制服を作成している業者による制服着こなし講座、薬物依存や防犯講座などを実施しました。コロナ禍の中で中断していた自転車運転免許講習も再開し、交通安全指導を行いました。しかしながら、自転車マナーなどについて近隣からの厳しい声もいただいております。なお一層指導の強化を行っていく必要があります。

(4) 進路指導領域

大学受験については、私立大学受験において一般入試を受験する生徒がここ数年増えてきており、一定の合格者数を確保しました。一方で、国公立大学へ合格者を出すことができず、特進エキスパートコースへの志願者が減少していることも併せて、コースの在り方について再考することが急務となっています。スポーツコースにおいては、スポーツ推薦による関東の難関大学への合格もあり、受験結果に大きく寄与しています。また、公務員試験に3名が合格するなど、就職志望者も内定を得ており、生徒個々の希望を実現することができました。通常の授業だけでなく、放課後や長期休暇での補習等において、各教員の指導による結果といえますが、安定した結果を維持するためにも、組織として難関大学への合格プロセスを明確にし、教員の指導力向上について体系化するなど再考する必要があります。

また、新たな取り組みとして国公立大学の推薦入試など多様な進路を実現するために、特進エキスパートコースで探究活動をスタートさせました。

(5) 入試・渉外領域

オープンスクール(2回)、入試説明会(3日計4回)、トワイライト入試説明会(6回)を実施しました。来場者数は昨年と大きな変化はなく、志願者数・入学者数は微増にとどまりました。

今年度は文化祭や体育祭などの学校行事もある程度コロナ禍前に戻したため、生徒や保護者のみなさまの「明るく楽しい商大堺」といった声が徐々に地域に浸透していくと考えております。本校の強みはこの声であると考えており、在校生を明るく楽しく過ごさせる日常の教育活動を、全教員で丁寧に行ってまいります。

また、入試担当の組織については、新たな人材を加え、本校の魅力発信に努めます。

(6) 教員の研修・研究領域

私学生徒指導連盟主催のスキルアップ研修に参加し、多くの教員が他校での現状を知り、学び、そして校内で共有するを行いました。また今年度、大阪私立学校進路指導研究会の幹事校であったため、大阪府内での各種進路事案が本校に報告されたので、本校の進路指導に大いに活かすことができました。

(7) 経営領域

志願者増のためには、学校の改革が必要と考えますが、令和4(2022)年度には、全ホームルーム教室にホワイトボード、プロジェクター、Wi-Fi環境を配備したことで、授業形態や雰囲気好転しています。また、各教室へ配備がされたことで、入試説明会をホームルーム教室にて細かく開催することができるなど、様々な本校の見せ方も可能となりました。

クラブ活動においては、ハンドボール部、柔道部などが全国大会・近畿大会へ出場するなどの成果や顧問によるスカウティング活動がしっかりと実施されたことにより専願受験者の確保ができました。

(8) その他の領域

地域との連携については、平岡小学校については、本校農園での授業を週一度、継続して行っているものの、八田荘幼稚園が3月で閉園となり連携が終了しました。八田荘西小学校から、令和6(2024)年度の授業協力に関する問い合わせがあり、本校が地域の支えとなれるよう、全教員で頑張っていく所存です。

保護者会や同窓会「清友」の各行事に協力し、教職員も積極的に参加することで、信頼関係の構築に努めました。その結果、保護者会や同窓会「清友」からも、コロナ禍以前と同様に本校各行事にサポートいただける結果となりました。

近隣の方との連携強化については、以前、5月に実施していました地域清掃への協力はできなかったものの、11月に収穫感謝祭を行い近隣の方の来場も再開し、喜んでいただきました。学校評価への協力も依頼しています。

③ 財務情報

資金収支内訳表

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科目	部門	大阪商業大学堺高等学校
学生生徒等納付金収入		467,816,533
手数料収入		21,666,500
寄付金収入		452,000
補助金収入		581,117,470
国庫補助金収入		15,811,000
地方公共団体補助金収入		349,783,003
地方公共団体授業料軽減補助金収入		215,523,467
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		0
受取利息・配当金収入		7,578
雑収入		75,608,487
借入金等収入		0
計		1,146,668,568

支出の部

科目	部門	大阪商業大学堺高等学校
人件費支出		844,724,416
教育研究経費支出		297,398,077
管理経費支出		29,627,647
借入金等利息支出		0
借入金等返済支出		0
施設関係支出		15,110,422
設備関係支出		37,295,838
計		1,224,156,400

事業活動収支内訳表

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目		部 門	大 阪 商 業 大 学 堺 高 等 学 校
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	467,816,533
		手数料	21,666,500
		寄付金	548,250
		経常費等補助金	565,541,470
		付随事業収入	0
		雑収入	75,608,487
		教育活動収入計	1,131,181,240
	支事業の活動	人件費	821,115,735
		教育研究経費	373,333,382
		管理経費	23,545,832
		教育活動支出計	1,217,994,949
教育活動収支差額		△	86,813,709
教育活動外収支	収事業の活動	受取利息・配当金	7,578
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	7,578
	支事業の活動	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	66,981,348
		教育活動外支出計	66,981,348
		教育活動外収支差額	△
経常収支差額		△	153,787,479
特別収支	収事業の活動	資産売却差額	0
		その他の特別収入	16,228,986
		特別収入計	16,228,986
	支事業の活動	資産処分差額	2,120,673
		その他の特別支出	0
		特別支出計	2,120,673
特別収支差額			14,108,313
基本金組入前当年度収支差額		△	139,679,166
基本金組入額合計		△	51,090,311
当年度収支差額		△	190,769,477
前年度繰越収支差額		△	2,674,080,900
翌年度繰越収支差額		△	2,864,850,377
(参考)			
事業活動収入計			1,147,417,804
事業活動支出計			1,287,096,970

※人件費、管理経費には、法人経費が含まれています。